

WILCOMM

Wi IComm PTF 適用手順書

Ver.7.15 SP2 For iSeries

PTF002 (Last Update : 2005/08/16)

Wi IComm AS400 V7.15

© Copyright 2000,2003
K.I.S.S. Inc.



PTF Ver.7.15 SP2 For iSeries

本解説書は、ウィルコム Ver.7.15 SP2 の **iSeries 側 PTF** 適用手順について解説しています。
PC サーバー側 PTF 適用手順につきましては、別マニュアルとなっていますので、ご注意ください。

ソフトウェア要件

iSeries OS/400 Ver.3.7 以上

iSeries PTF 適用手順

確認事項

PTF 適用時に WILPTF というライブラリーが一時的に iSeries へ復元されます。
もし、現在 WILPTF という名前のライブラリーが存在している場合、PTF 適用作業を行う前に削除するか、他の名前に変更して下さい。

P T F 適用時に WILPTFSV というライブラリーが作成されます。
もし、現在 WILPTFSV という名前のライブラリーが存在している場合、PTF 適用作業を行う前に削除するか、他の名前に変更して下さい。

Wi lComm のメニューを表示させてコマンドラインに DSPWILPTF とタイプして実行します。
DSPWILPTF コマンドが存在しない場合、次ページの処理へ進みます。
WILCOMM PTF 番号 に 03071001 以上の番号が表示された場合、次ページの処理へ進みます。
WILCOMM PTF 番号 に 03071001 より小さい番号が表示された場合、以下の作業を行って下さい。

ライブラリーWILPLEXCHG に WCAPI_UPGM というプログラムが存在していないか確認して下さい。
存在しない場合、次ページの処理へ進みます。
もし存在している場合にはプログラム WCAPI_UPGM へ以下の修正が必要です。

&RTN_ARCH というパラメータを末尾に追加します。
PGM PARM(&SF_FILE &SF_SPLNBR &SF_JOB &SF_USER +
 &SF_NBR &SF_TEXT &#FORMN &#USERD &LIB +
 &FILE &RTN_CODE &RTN_ARCH)

変数の定義を追加します。
DCL VAR(&RTN_ARCH) TYPE(*CHAR) LEN(1)

プログラムの先頭で、変数にデフォルト値をセットします。
CHGVAR VAR(&RTN_ARCH) VALUE('Y')

Step1. ユーザーQSECOFR でサインオンします。

以下のシステム値について、設定を確認します。

(システム値の変更は、他システムへの影響がないことをシステム管理者に確認してください。)

QALWOBJRST : 設定されている値を控えて、*ALL に設定します。

PTF の適用が終わったら元に戻して下さい。

QVFYOBJRST : 設定されている値を控えて、1 に設定します。

PTF の適用が終わったら元に戻して下さい。

(このシステム値は、OS のバージョンによっては、存在しない場合があります。)

Step2. WilComm の監視ジョブ (サブシステム) を停止します。

- ・ コマンドラインより GO W を実行して WilComm のメニューを開きます。
- ・ コマンドラインに 60 を入力し実行します。
- ・ コマンドラインに 20 を入力して実行します。
- ・ 画面が表示されたら、実行キーを押します。

Step3. WilComm のメインメニューにある「2 . メッセージ・リストの表示」を全ての端末で使用していない事を確認して下さい。

Step4. W I L C O M M P T F の C D を iSeries の C D - R O M ドライブにセットして下さい。

Step5. コマンドラインから LODRUN *OPT を実行して下さい。

以上で、WilComm iSeries の PTF 適用作業は終わりです。

PTF 適用により置き換えられた古いオブジェクトは、WILPTFSV というライブラリーへ保管されています。

PTF 適用後、何らかの不具合が発生した場合には、WILPTFSV にあるオブジェクトでライブラリーWILPLEX にあるオブジェクトを置き換えて下さい。

PTF 適用後特に問題がない場合は、ライブラリーWILPTFSV は不要ですので削除して下さい。